

四国横断自動車道建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告

試掘調査総括

中谷山古墳群（Ⅰ）

川端奥郷遺跡

川端馬越古墳群

桧はちまき山遺跡

桧高麗谷古墳群

桧北山古墳群

浄土寺遺跡

浄土寺山古墳群

西山田古墳群（Ⅰ）

本文編

〈第1分冊〉

2005

徳島県教育委員会
財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
日本道路公団

四国横断自動車道建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告

試掘調査総括
中谷山古墳群（Ⅰ）
川端奥郷遺跡
川端馬越古墳群
桧はちまき山遺跡
桧高麗谷古墳群
桧北山古墳群
浄土寺遺跡
浄土寺山古墳群
西山田古墳群（Ⅰ）

本文編
〈第1分冊〉

2005

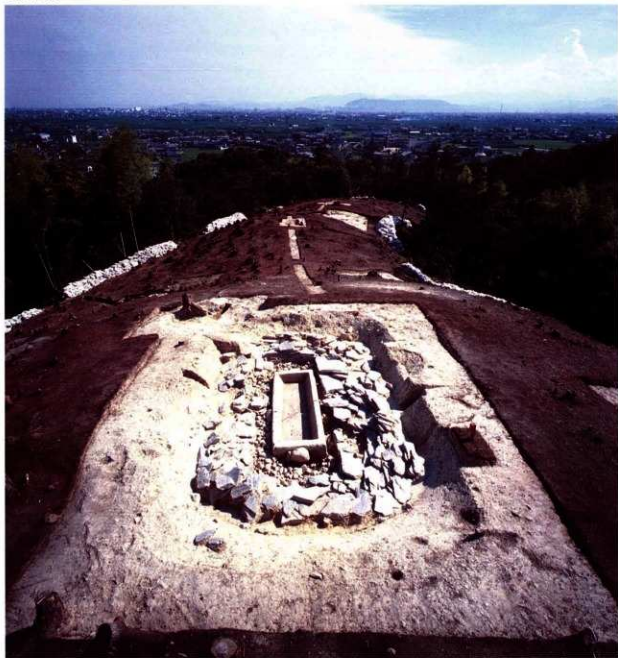
徳島県教育委員会
財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
日本道路公団



阿讃山脈東南縁の遺跡群（鳴門市西部から鳴門海峡・紀伊水道を望む）



大代古墳 調査前遠景



大代古墳後円部より徳島平野を望む（北より）



舟形石棺（大代古墳主体部）



長方板革綴短甲（大代古墳出土）



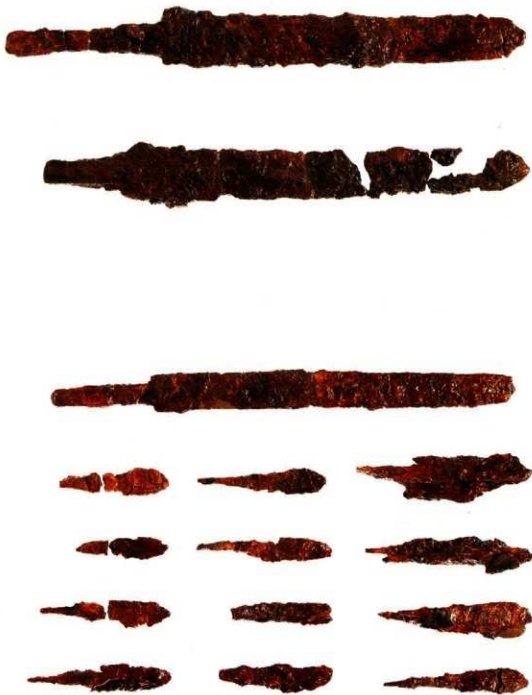
西山谷2号墳 全景（北より）



西山谷2号墳 竪穴式石室（南より）



斜線上方作銘獸帶鏡（西山谷2号墳出土）



SM1002 (2号坑) 出土兵器 (部分): 铁剑

西山谷古墳群出土兵器 (铁剑・铁刺・铁棒)

ST1004 (石室土藏墓) 出土兵器 (铁刺・铁剑)



尾根上の弥生遺跡



カネガ谷遺跡 段状遺構(北より)



カネガ谷遺跡（調査区全景）



内行花文放射線状文仿製鏡（カネガ谷遺跡出土）



袋状鉄斧（カネガ谷遺跡出土）

序 文

徳島県の北東端に位置する鳴門市大麻町から板野郡板野町は律令時代には板野郡に属し、官道である南海道が敷かれ、東四国の玄関口として繁栄してまいりました。四国横断自動車道（鳴門～津田）は南海道とほぼ同じルートをたどることから、「阿波の南海道」の愛称で呼ばれております。

財団法人徳島県埋蔵文化財センターでは、平成9年度から調査業務を開始し、平成13年3月、路線にかかる44ヵ所の文化財対象地の調査を完了いたしました。この事業の特徴は、阿讃山脈裾に路線が設定されたため、多くの古墳が調査対象となったことでもあります。

本書は、四国横断自動車道（鳴門～板野）の建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書であり、本調査18遺跡の調査成果と本調査に至らなかった26遺跡の試掘調査報告書を一冊にまとめたものであります。

調査成果には、鳴門市西山谷古墳群や大代古墳のように全国的に注目された遺跡も含まれており、本書が調査研究の資料として活用され、文化財保護の一助となれば幸いです。

西山谷古墳群のうち2号墳の竪穴式石室については、調査終了後に石室を切り取り、徳島県立埋蔵文化財総合センターに搬入し、平成13年度に整備・復元を実施しました。平成14年7月に工事を完了し、当センターで屋外展示しております。

大代古墳については日本道路公団の格別のご配慮により、現地で保存することができました。また、徳島県文化財保護審議会において平成14年6月に県指定文化財に指定されました。

なお、発掘調査・報告書の作成にあたり、日本道路公団および関係諸機関ならびに地元の皆様に多大の御援助、御協力を頂き、さらに関係各位には貴重な御指導・御教示を賜りました。ここに厚く御礼申し上げますと共に、今後も当センターの事業について一層御支援下さるようお願い申し上げます。

平成17年4月

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

理事長 佐藤 勉

例 言

1. 本書は平成9年度（1997年度）～平成12年度（2000年度）に実施された四国横断自動車道建設（鳴門～津田（徳島県分））に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 本書には、四国横断自動車道 鳴門～津田（第12次区間）の板野郡板野町から鳴門市にかけての試掘調査26遺跡の総括および本掘18遺跡の計44遺跡の調査成果を取録した（Ⅰ-第1表 埋蔵文化財調査地一覧表・第2表 試掘調査地一覧表参照）。
3. 発掘調査は、日本道路公団四国支社・同徳島工事事務所から徳島県教育委員会が委託され、徳島県教育委員会からの再委託により、財団法人 徳島県埋蔵文化財センターが実施した。
4. 発掘調査および報告書の作成についての実施期間は次の通りである。

発掘調査

平成9（1997）年度	平成9年6月16日～平成10年3月31日
平成10（1998）年度	平成10年4月1日～平成11年3月31日
平成11（1999）年度	平成11年4月1日～平成12年3月31日
平成12（2000）年度	平成12年4月1日～平成13年3月31日

整理業務・報告書作成

平成14年4月1日～平成17年3月31日

5. 遺物番号・挿図番号・表番号・写真図版番号は原則的に各章および遺跡ごとに通し番号とした。ただし、遺跡あるいは遺物によって図幅ごとに独立して遺物番号を記したものもある。また、出土遺物等の観察表については各遺跡の文末に記載した。
6. 四国横断自動車道の路線に係る埋蔵文化財調査地点と周辺の遺跡（1/50,000）および各調査地点の調査区位置図は、各々Ⅰ・Ⅱ章にまとめた。なお、第二章 第1図の地形図は国土交通省国土地理院発行の1/50,000「三木松・鳴門海峡・徳島・川島」の地形図を転載した。
7. 遺構の表示は財団法人 徳島県埋蔵文化財センターが定める略記号を用いた。またEではじまる遺構略記号（EK・EP等）は遺構内遺構を表す。

凡例

SA 掘立柱建物跡	SB 竪穴住居跡	SD 溝・段状遺構	SH 炉跡
SK 土坑（竈）	SL 池・池状遺構	SM 古墳	SP 柱穴・小穴

SR 自然流路

ST 墓（無墳丘墓）

SX 性格不明遺構

8. 遺構番号および調査区グリッド配置等は整理作業の混乱を避けるため、原則的に調査時の所見を基に使用した。
9. 方位は国土座標第Ⅳ系の北、高さは東京湾標準潮位（T.P.）を表す。
10. 本書で用いた土層および土器の色調は、小山正忠・竹原秀夫 編「新版 標準土色帳」日本色研事業株式会社 1967年（第1版発行）による。
11. 発掘調査・報告書作成に際しては、次の方々のご指導・御協力を得た。（順不同・敬称略）
文化庁・日本道路公団四国支社・同徳島工事事務所・徳島県教育委員会・徳島県文化財保護審議委員会・徳島県土木部高速道路推進局・徳島県県土整備部宮編課・鳴門市教育委員会・板野町
東 潮・天羽利夫・石野博信・魚島純一・臼杵 勲・梅木健一・浦上雅史・岡山敏彦・岡村道雄・大久保哲也・川西宏幸・川畑 總・岸本直文・久保田昇三・坂井秀弥・下川 清・柴田昌見・下條信行・高倉洋彰・高島芳弘・瀧山雄一・橋本達也・広瀬常雄・藤丸詔二郎・古瀬清秀・古屋 毅・北條芳隆・本田 昇・間壁忠彦・三宅良明・六草恵一・村上恭通・南 武志・森 清治・森 浩一・山内秀樹・山元敏裕・湯浅利彦・吉井秀夫・和山晴吾・渡部明夫
12. 本書の執筆は次の通りである。
Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ～ⅩⅠ 原 芳伸 Ⅲ 金森咲人・原 芳伸
各章の構成はそれぞれの執筆者が担当し、詳細は別途例言に記した。ⅩⅡの科学分析の成果報告は各委託業者が執筆した。
13. 本書に収録した写真は、調査状況は各調査担当者、遺物写真は金森咲人・山本和弘・安倍崇志・原芳伸が撮影した。また航空写真は朝日航洋株式会社・国際航業株式会社・三和航測株式会社・バスコ㈱・航空撮影センター撮影のものを用いた。
14. 本書で遺跡名は平成8年10月段階の当該事業に係る埋蔵文化財包蔵地の取り扱い名称に拠る。
15. 全体の構成・編集は原が行った。
16. 本書に収録した遺物および図面・写真などの記録の一切は、徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2に所在する徳島県立埋蔵文化財総合センターに保管されている。

本文目次

第1分冊

I	調査にいたる経緯	1
II	調査地点の立地と環境	13
III	試掘調査総括	33
	板野郡板野町内の試掘調査	35
1	大坂西谷遺跡	35
2	唱谷遺跡	40
3	関柱遺跡	45
4	金泉寺西谷古墳群	50
5	金泉寺東谷古墳群	53
6	中谷山古墳群(Ⅱ)	56
7	中谷山古墳群(Ⅲ)	60
	鳴門市大麻町内の試掘調査	63
8	桧西谷遺跡	63
9	板東塚鼻遺跡	68
10	西山田古墳群(Ⅱ)	73
11	カネガ谷西古墳群	77
12	王子八輪神社古墳群	81
13	長谷古墳群	85
14	滝ヶ谷古墳群	88
15	中内遺跡	91
16	袖もぎ古墳群	95
17	宇志比古神社古墳群	98
18	東山谷遺跡	102
19	鉦山宮尾神社古墳群	108
20	タキケ谷古墳群	112
21	小森宮尾神社古墳群	116
22	宮ヶ谷古墳群	119
	鳴門市大津町内の試掘調査	122
23	大代谷遺跡	122
24	東口古墳群	126
25	日開谷東古墳群	128
26	原山古墳群	132

IV	中谷山古墳群 (I)	135
1	調査の経過	138
	(1) 調査の経過	138
	(2) 発掘調査の方法	138
	(3) 調査日誌抄	139
2	調査成果	139
	(1) 遺跡の位置	139
	(2) 基本層序	139
	(3) 遺構と遺物	145
	(4) まとめ	151
V	川端奥郷遺跡	153
1	調査の経過	156
	(1) 調査の経過	156
	(2) 発掘調査の方法	156
	(3) 調査日誌抄	157
2	調査成果	160
	(1) 基本層序	160
	(2) 遺構と遺物	165
	(3) まとめ	165
VI	川端馬越古墳群	169
1	調査の経過	172
	(1) 調査の経過	172
	(2) 発掘調査の方法	172
	(3) 調査日誌抄	173
2	調査成果	173
	(1) 基本層序	173
	(2) 遺構と遺物	176
	(3) まとめ	188
VII	桧はちまき山遺跡	191
1	調査の経過	194
	(1) 調査の経過	194
	(2) 発掘調査の方法	195
	(3) 調査日誌抄	195
2	調査成果	199

(1) 遺跡の概要	199
(2) 基本層序	200
(3) 遺構と遺物	200
(4) まとめ	282
Ⅶ 松高麗谷古墳群	297
1 調査の経過	300
(1) 調査の経過	300
(2) 発掘調査の方法	301
(3) 調査日誌抄	301
2 調査成果	303
(1) 基本層序	303
(2) 遺構と遺物	304
(3) まとめ	315
Ⅷ 松北山古墳群	319
1 調査の経過	322
(1) 調査の経過	322
(2) 発掘調査の方法	322
(3) 調査日誌抄	322
2 調査成果	326
(1) 基本層序	326
(2) 遺構と遺物	327
(3) まとめ	334
Ⅸ 浄土寺遺跡	337
1 調査の経過	340
(1) 調査の経過	340
(2) 発掘調査の方法	340
(3) 調査日誌抄	341
2 調査成果	342
(1) 遺跡の概要	342
(2) 基本層序	342
(3) 遺構と遺物	342
(4) まとめ	412
Ⅹ 浄土寺山古墳群	441
1 調査の経過	444

(1) 調査の経過	444
(2) 発掘調査の方法	444
(3) 調査日誌抄	444
2 調査成果	448
(1) 遺跡の位置	448
(2) 基本層序	448
(3) 遺構と遺物	449
(4) まとめ	451
XII 西山田古墳群 (I)	453
1 調査の経過	456
(1) 調査の経過	456
(2) 発掘調査の方法	456
(3) 調査日誌抄	456
2 調査成果	460
(1) 遺跡の位置	460
(2) 基本層序	460
(3) 遺構と遺物	460
(4) まとめ	465

第2分冊

XIII カネガ谷遺跡	471
1 調査の経過	474
(1) 調査の経過	474
(2) 発掘調査の方法	474
(3) 調査日誌抄	475
2 調査成果	477
(1) 遺跡の位置	477
(2) 基本層序	477
(3) 遺構と遺物	477
(4) まとめ	653
XIV 延谷東遺跡	799
1 調査の経過	802
(1) 調査の経過	802
(2) 発掘調査の方法	802
(3) 調査日誌抄	803

2	調査成果	806
(1)	遺跡の位置	806
(2)	基本層序	806
(3)	遺構と遺物	808
(4)	まとめ	809
IV	勝明寺谷古墳群	811
1	調査の経過	814
(1)	調査の経過	814
(2)	発掘調査の方法	814
(3)	調査日誌抄	814
2	調査成果	818
(1)	遺跡の位置	818
(2)	基本層序	818
(3)	遺構と遺物	819
(4)	まとめ	831
V	助ヶ谷古墳群	835
1	調査の経過	839
(1)	調査の経過	839
(2)	発掘調査の方法	839
(3)	調査日誌抄	839
2	調査成果	841
(1)	遺跡の位置	841
(2)	基本層序	842
(3)	遺構と遺物	842
(4)	まとめ	847
VI	東林院古墳群	851
1	調査の経過	855
(1)	調査の経過	855
(2)	発掘調査の方法	855
(3)	調査日誌抄	855
2	調査成果	858
(1)	遺跡の位置	858
(2)	基本層序	858
(3)	遺構と遺物	860
(4)	まとめ	885

Ⅷ 西山谷古墳群	893
1 調査の経過	896
(1) 調査の経過	896
(2) 発掘調査の方法	896
(3) 調査日誌抄	898
2 調査成果	905
(1) 遺跡の概要	905
(2) 基本層序	905
(3) 遺構と遺物	905
1. 古墳群の構成	905
2. 東尾根の古墳群	905
SM1003 (3号墳)	905
ST1001 (1号石室墓)	909
ST1002 (2号石室墓)	909
ST1003 (3号石室墓)	913
ST1004 (1号石蓋土壙墓)	913
3. 西尾根の古墳	919
SM1002 (2号墳)	919
墳丘形態	919
埋葬施設	919
(1) 石室の構築	919
(2) 竪穴式石室	921
(3) 粘土棺床	922
副葬品	931
(1) 棺内副葬品	931
(2) 棺外副葬品	937
(4) まとめ	939
3 石室の移設・保存と公開	948
(1) 移設に至る経緯と経過	948
(2) 竪穴式石室の搬出	948
(3) 石室の復元・整備	949
Ⅷ 大谷山山道跡	957
1 調査の経過	960
(1) 調査の経過	960
(2) 発掘調査の方法	960
(3) 調査日誌抄	960

2	調査成果	963
	(1) 遺跡の位置	963
	(2) 基本層序	963
	(3) 遺構と遺物	965
	(4) まとめ	982
XI	大代古墳	989
1	調査の経過	992
	(1) 調査の経過	992
	(2) 発掘調査の方法	992
	(3) 調査日誌抄	993
2	調査成果	998
	(1) 遺跡の位置	998
	(2) 古墳群の構成	998
	(3) 大代古墳(1号墳)	1003
	(4) 2号墳	1092
	(5) 3号墳	1094
	(6) 東尾根部箱式石棺の調査	1103
	(7) まとめ	1107
3	大代古墳の現地保存と史跡整備	1114
Ⅳ	辺露遺跡	1147
1	調査の経過	1150
	(1) 調査の経過	1150
	(2) 発掘調査の方法	1150
	(3) 調査日誌抄	1150
2	調査成果	1151
	(1) 基本層序	1151
	(2) 遺構と遺物	1158
	(3) まとめ	1185

挿図・表・図版目次

第1分冊

I 調査にいたる経緯

挿図目次

- 第1図 調査地点の位置 ……………4

表目次

- 第1表 埋蔵文化財調査地一覧表 ……………10
第2表 埋蔵文化財試掘調査地一覧表 ……………11

II 調査地点の立地と環境

- 第1図 四国横断自動車道の路線に係る埋蔵文化財調査
地点と周辺の遺跡 (1/50,000) ……………17
第2図～第6図 調査地点位置図 (1/20,000) ……………18
第7図～第24図 調査区位置図 (1/5,000) ……………23

III 試掘調査経緯

1 大板西谷遺跡

挿図目次

- 第1図 トレンチ配置図 ……………36
第2図 模式柱状土層図 ……………37
第3図 出土遺物 ……………38

表目次

- 第1表 出土遺物観察表 ……………39

2 鳴谷遺跡

挿図目次

- 第1図 地形平面・遺構配置図 ……………40
第2図 トレンチ配置・模式柱状土層図 ……………41
第3図 出土遺物1 ……………42
第4図 出土遺物2 ……………42
第5図 出土遺物3 ……………42

表目次

- 第1表 出土遺物観察表 ……………44

3 関柱遺跡

挿図目次

- 第1図 トレンチ配置図 ……………46
第2図 模式柱状土層図 ……………47
第3図 出土遺物 ……………48

表目次

- 第1表 出土遺物観察表 ……………49

4 金泉寺西谷古墳群

挿図目次

- 第1図 トレンチ配置図 ……………51
第2図 模式柱状土層図 ……………52

5 金泉寺東谷古墳群

挿図目次

- 第1図 地形平面・トレンチ配置図 ……………54
第2図 模式柱状土層図 ……………55

6 中谷山古墳群 (Ⅰ)

挿図目次

- 第1図 地形平面図 ……………57
第2図 トレンチ配置図 ……………58
第3図 模式柱状土層図 ……………59

7 中谷山古墳群 (Ⅱ)

挿図目次

- 第1図 地形平面・トレンチ配置図 ……………61
第2図 模式柱状土層図 ……………62

8 檢西谷遺跡

挿図目次

- 第1図 トレンチ配置図 ……………63
第2図 土層断面図 ……………64
第3図 出土遺物 ……………65

表目次

第1表 出土遺物観察表	67
-------------	----

9 板東塚鼻遺跡

挿図目次

第1図 トレンチ配置図	69
第2図 模式柱状土層図	70
第3図 出土遺物	71

表目次

第1表 出土遺物観察表	72
-------------	----

10 西山田古墳群 (I)

挿図目次

第1図 地形平面図	74
第2図 トレンチ配置図	75
第3図 模式柱状土層図	76

11 カネガ谷西古墳群

挿図目次

第1図 地形平面図	78
第2図 トレンチ配置図	79
第3図 模式柱状土層図	80

12 王子八幡神社古墳群

挿図目次

第1図 地形平面図	82
第2図 トレンチ配置図	83
第3図 模式柱状土層図	84

13 長谷古墳群

挿図目次

第1図 地形平面・トレンチ配置図	86
第2図 模式柱状土層図	87

14 滝ヶ谷古墳群

挿図目次

第1図 地形平面・トレンチ配置図	89
第2図 模式柱状土層図	90

15 中内遺跡

挿図目次

第1図 地形平面・トレンチ配置図	91
第2図 模式柱状土層図	92
第3図 出土遺物	93

表目次

第1表 出土遺物観察表	94
-------------	----

16 袖もぎ古墳群

挿図目次

第1図 地形平面・トレンチ配置図	96
第2図 模式柱状土層図	97

17 宇志比古神社古墳群

挿図目次

第1図 地形平面図	99
第2図 トレンチ配置図	100
第3図 模式柱状土層図	101

18 東山谷遺跡

挿図目次

第1図 地形平面図	103
第2図 トレンチ配置図	104
第3図 模式柱状土層図	105
第4図 出土遺物	106

表目次

第1表 出土遺物観察表	107
-------------	-----

19 飯田宮尾神社古墳群

挿図目次

第1図 地形平面図	109
第2図 トレンチ配置図	110
第3図 模式柱状土層図	111

20 タキヶ谷古墳群

挿図目次

第1図 地形平面図	113
第2図 トレンチ配置図	114

第3図	模式柱状土層図	115
-----	---------	-----

21 小森宮尾神社古墳群

挿図目次

第1図	地形平面図	116
第2図	トレンチ配置・模式柱状土層図	117

22 宮ヶ谷古墳群

挿図目次

第1図	地形平面図	119
第2図	トレンチ配置図	120
第3図	模式柱状土層図	121

23 大代谷遺跡

挿図目次

第1図	トレンチ配置・模式柱状土層図	123
第2図	出土遺物	124

表目次

第1表	出土遺物観察表	125
-----	---------	-----

24 東古墳群

挿図目次

第1図	地形平面・トレンチ配置・模式柱状土層図	127
-----	---------------------	-----

25 日開谷東古墳群

挿図目次

第1図	地形平面図	129
第2図	トレンチ配置図	130
第3図	模式柱状土層図	131

26 原山古墳群

挿図目次

第1図	地形平面・トレンチ配置図	133
第2図	模式柱状土層図	134

本編調査総括

IV 中谷山古墳群 (I)

挿図目次

第1図	グリッド配置図	138
第2図	地形平面図	141
第3図	トレンチ配置図・本調査範囲	143
第4図	トレンチ土層断面図	145
第5図	遺構配置図	146
第6図	1号墳主体部平・断面図	147
第7図	1号墳石室平・断面図	149
第8図	1号墳主体部土層断面図	151
第9図	包含層出土遺物	151

表目次

第1表	出土遺構一覧表	152
第2表	出土遺物観察表	152

V 川端奥郷遺跡

挿図目次

第1図	グリッド配置図	156
第2図	調査区トレンチ配置図	158
第3図	模式柱状土層図	159
第4図	1区トレンチ配置図	160
第5図	2区地形平面図	161
第6図	2区トレンチ配置図	162
第7図	1・2区模式柱状土層図	163
第8図	出土遺物1	164
第9図	出土遺物2	165

表目次

第1表	出土遺物観察表	166
-----	---------	-----

VI 川端馬越古墳群

挿図目次

第1図	グリッド配置図	172
第2図	地形平面・遺構配置図	174
第3図	トレンチ配置図	175
第4図	模式柱状土層図	176
第5図	SM1001周辺地形平面図	177
第6図	SM1001石室平・断面および遺物出土分布状況	

	ドット図	178	第22図	SB1008平・断面図	218
第7図	SM1001石室上層断面図	179	第23図	SB1008-ED・EP断面図	219
第8図	SM1001出土遺物	179	第24図	SB1008出土遺物1	220
第9図	SM1002周辺地形平面図	180	第25図	SB1008出土遺物2	221
第10図	SM1002石室平・断面図	181	第26図	SB1009平・断面図	222
第11図	SM1002遺物出土分布状況ドット図	183	第27図	SB1009-ED・EP断面図	223
第12図	SM1002石室基底部平面図	184	第28図	SB1009出土遺物	224
第13図	SM1002石室除去後平・上層断面図	185	第29図	SB1010平・断面図	224
第14図	SM1002出土遺物	186	第30図	SB1010出土遺物	225
第15図	SX1001・1002平・断面図	187	第31図	SB1011平・断面図	226
第16図	包含層出土遺物	188	第32図	SB1011-EH・ED・EP断面図	227
表目次			第33図	SB1011出土遺物1	228
第1表	出土遺物一覧表	189	第34図	SB1011出土遺物2	229
第2表	出土遺物観察表	189	第35図	SB1011出土遺物3	230
Ⅴ 検はちまき山遺跡			第36図	SB1011出土遺物4	231
押図目次			第37図	SB1011出土遺物5	232
第1図	グリッド配置図	194	第38図	SD1001およびSP1024~1028平・断面図	233
第2図	地形平面・遺構配置図	197	第39図	SD1002・SP1030平・断面図	234
第3図	トレンチ配置図	199	第40図	SD1002出土遺物	235
第4図	トレンチ七層断面図	201	第41図	SP1030出土遺物	235
第5図	SB1001平・断面図	203	第42図	SD1003平・断面図	236
第6図	SB1001出土遺物	204	第43図	SD1003出土遺物	237
第7図	SB1002平・断面図	205	第44図	SD1004平・断面図	237
第8図	SB1002-EK・ED・EP断面図	206	第45図	SD1004出土遺物	238
第9図	SB1002出土遺物	206	第46図	SD1005平・断面図	239
第10図	SB1003平・断面図	207	第47図	SD1005出土遺物	240
第11図	SB1003出土遺物	208	第48図	SD1006平・断面図	241
第12図	SB1004平・断面図	209	第49図	SD1007平・断面図	242
第13図	SB1004出土遺物	210	第50図	SD1007-EH・EK・EP平・断面図	243
第14図	SB1005平・断面図	211	第51図	SD1007出土遺物	244
第15図	SB1005-EH・EP断面図	212	第52図	SD1008平・断面図	245
第16図	SB1005出土遺物	213	第53図	SD1009平・断面図	246
第17図	SB1006平・断面図およびSP1031~1033断面図	214	第54図	SD1009出土遺物	247
第18図	SB1006-EH・EPおよびSP1031~1033断面図	215	第55図	SD1010平・断面図	248
第19図	SB1006出土遺物	215	第56図	SD1010出土遺物1	249
第20図	SB1007平・断面図	216	第57図	SD1010出土遺物2	250
第21図	SB1007出土遺物	217	第58図	SD1010出土遺物3	251
			第59図	SD1011平・断面図	252

第60図	SD1011出土遺物	253
第61図	SK1002平・断面図	253
第62図	SK1003平・断面図	253
第63図	SK1004平・断面図	254
第64図	SK1005平・断面図	254
第65図	SK1006平・断面図	254
第66図	SK1007平・断面図	255
第67図	SK1008平・断面図	255
第68図	SK1009平・断面図	255
第69図	SK1010平・断面図	256
第70図	SK1011平・断面図	256
第71図	SK1012平・断面図	256
第72図	SK1013平・断面図	257
第73図	SP1006・1007平・断面図	257
第74図	SP1008・1013・1014平・断面図	258
第75図	SP1008出土遺物	258
第76図	SP1009～1011平・断面図	259
第77図	SP1012平・断面図	259
第78図	SP1015～1020平・断面図	259
第79図	SP1021～1023平・断面図	260
第80図	SP1029平・断面図	260
第81図	SP1034・1035平・断面図	260
第82図	SP1036平・断面図	261
第83図	SP1037平・断面図	261
第84図	SP1038平・断面図	261
第85図	SP1039平・断面図	262
第86図	SP1040・1041平・断面図	262
第87図	包含層出土遺物 1	263
第88図	包含層出土遺物 2	264
第89図	包含層出土遺物 3	265
第90図	包含層出土遺物 4	266
第91図	包含層出土遺物 5	267
第92図	包含層出土遺物 6	268
第93図	包含層出土遺物 7	269
第94図	包含層出土遺物 8	270
第95図	包含層出土遺物 9	271
第96図	包含層出土遺物 10	272
第97図	包含層出土遺物 11	273

第98図	包含層出土遺物 12	274
第99図	包含層出土遺物 13	275
第100図	包含層出土遺物 14	276
第101図	包含層出土遺物 15	277
第102図	包含層出土遺物 16	278
第103図	包含層出土遺物 17	279
第104図	包含層出土遺物 18	280
第105図	包含層出土遺物 19	281

表目次

第 1 表	出土遺構一覧表	285
第 2 表	出土遺物観察表	287

Ⅳ 檢高麗谷古墳群

挿図目次

第 1 図	グリッド配置図	300
第 2 図	地形平面・遺構配置図	302
第 3 図	トレンチ配置図	303
第 4 図	模式柱状土層図	304
第 5 図	ST1001平・断面図	305
第 6 図	ST1001土器棺	305
第 7 図	ST1002平・断面図	306
第 8 図	ST1002土器棺蓋・身	307
第 9 図	ST1003平・断面図	308
第10図	ST1004平面図	309
第11図	ST1005平・断面図	311
第12図	ST1005土層断面図	313
第13図	ST1005出土遺物	315
第14図	ST1006平・断面図	316

表目次

第 1 表	出土遺構一覧表	317
第 2 表	出土遺物観察表	317

Ⅴ 檢北山古墳群

挿図目次

第 1 図	グリッド配置図	323
第 2 図	地形平面・遺構配置図	324
第 3 図	本調査範囲・トレンチ配置図	325
第 4 図	模式柱状土層図	326

第5図	SM1001基石散佈状況平面図	327
第6図	SM1001主体部平・土層断面図	328
第7図	SM1001墓壇平・断面図	329
第8図	SM1001出土遺物	331
第9図	ST1001平・断面図	332
第10図	ST1001出土遺物	335

表目次

第1表	出土遺物一覧表	336
第2表	出土遺物観察表	336

X 浄土寺遺跡

挿図目次

第1図	グリッド配置図	340
第2図	遺構配置図(弥生)	343
第3図	遺構配置図(中世)	344
第4図	土層断面図	345
第5図	SK1014~1019平・断面図(弥生)	347
第6図	SK1014出土遺物(弥生)	348
第7図	SP1301~1308・SP1310~1320平・断面図(弥生)	352
第8図	包含層出土遺物(弥生)	353
第9図	SA1001平・断面図	354
第10図	SA1001出土遺物	355
第11図	SA1002平・断面図	356
第12図	SA1002出土遺物	356
第13図	SA1003平・断面図	357
第14図	SA1003出土遺物	358
第15図	SD1001平・断面図	358
第16図	SD1002平・断面図	359
第17図	SD1002出土遺物	360
第18図	SK1001~1006平・断面図	362
第19図	SK1001出土遺物	363
第20図	SK1003出土遺物	363
第21図	SK1004出土遺物	363
第22図	SK1007~1013平・断面図	365
第23図	SK1007出土遺物	366
第24図	SK1008出土遺物	366
第25図	SK1013出土遺物	366
第26図	SP1033・1034・1079・1091・1092・1098・1103	

平・断面図	367	
第27図	SP1033出土遺物	367
第28図	SP1034出土遺物	368
第29図	SP1079出土遺物	368
第30図	SP1091出土遺物	368
第31図	SP1092出土遺物	369
第32図	SP1103出土遺物	369
第33図	SP1106・1151・1165・1168・1169・1171・1172・1176平・断面図	370
第34図	SP1165出土遺物	370
第35図	SP1168出土遺物	370
第36図	SP1169出土遺物	371
第37図	SP1171出土遺物	371
第38図	SP1172出土遺物	371
第39図	SP1176出土遺物	371
第40図	SP1180・1184・1203・1205・1206・1219・1220・1222・1233・1241・1252平・断面図	372
第41図	SP1180出土遺物	373
第42図	SP1184出土遺物	373
第43図	SP1203出土遺物	373
第44図	SP1205出土遺物	373
第45図	SP1206出土遺物	374
第46図	SP1219出土遺物	374
第47図	SP1220出土遺物	374
第48図	SP1222出土遺物	375
第49図	SP1233出土遺物	375
第50図	SP1241出土遺物	375
第51図	SP1252出土遺物	375
第52図	SU1002平・断面図	376
第53図	SU1002出土遺物	376
第54図	SU1003平・断面図	377
第55図	SU1003出土遺物	377
第56図	SU1004・1007平・断面図	377
第57図	SU1004出土遺物	378
第58図	SU1008平・断面図	379
第59図	SU1008出土遺物	380
第60図	SO1001平・断面図	381
第61図	SO1001出土遺物	381

第62図	SX1001・1002平・断面図	382
第63図	SX1001出土遺物	383
第64図	SX1002出土遺物	383
第65図	SX1003平・断面図	384
第66図	SX1003出土遺物 1	385
第67図	SX1003出土遺物 2	386
第68図	SX1003出土遺物 3	387
第69図	SX1005平・断面図	388
第70図	SX1005出土遺物	389
第71図	SX1006平・断面図	389
第72図	SX1006出土遺物	387
第73図	SX1007平・断面図	391
第74図	SX1007出土遺物 1	392
第75図	SX1007出土遺物 2	393
第76図	SX1007出土遺物 3	394
第77図	SX1007出土遺物 4	395
第78図	SX1007出土遺物 5	396
第79図	SX1007出土遺物 6	397
第80図	SX1007出土遺物 7	398
第81図	SX1008平・断面図	399
第82図	SX1008出土遺物	400
第83図	包含層出土遺物 1	401
第84図	包含層出土遺物 2	402
第85図	包含層出土遺物 3	403
第86図	包含層出土遺物 4	404
第87図	包含層出土遺物 5	405
第88図	包含層出土遺物 6	406
第89図	包含層出土遺物 7	407
第90図	包含層出土遺物 8	408
第91図	包含層出土遺物 9	408
第92図	包含層出土遺物 10	409
第93図	包含層出土遺物 11	410
第94図	包含層出土遺物 12	411

表目次

第 1 表	出土遺物一覧表	413
第 2 表	出土遺物観察表	419

Ⅹ 浄土寺山古墳群

挿図目次

第 1 図	グリッド配置図	445
第 2 図	地形平面・遺構配置図	446
第 3 図	トレンチ配置図	447
第 4 図	模式柱状土層図	448
第 5 図	SD1001平・断面図	449
第 6 図	SD1001出土遺物	450
第 7 図	包含層出土遺物	450

表目次

第 1 表	出土遺物一覧表	452
第 2 表	出土遺物観察表	452

Ⅺ 西山田古墳群 (I)

挿図目次

第 1 図	グリッド配置図	457
第 2 図	地形平面・遺構配置図	458
第 3 図	本調査範囲・トレンチ配置図	459
第 4 図	模式柱状土層図	460
第 5 図	SM1001墓室内出土遺物取り上げ割り付け図	461
第 6 図	SM1001平・土層断面図	462
第 7 図	SM1001完掘状況平・断面図	463
第 8 図	SM1001出土遺物 1	464
第 9 図	SM1001出土遺物 2	465
第 10 図	SM1001出土遺物 3 (玉類)	466

表目次

第 1 表	出土遺物一覧表	467
第 2 表	出土遺物観察表	467

第 2 分冊

Ⅻ カネガ谷遺跡

挿図目次

第 1 図	グリッド配置図	475
第 2 図	地形平面・遺構配置図	479
第 3 図	トレンチ配置・基本土層柱状図	481
第 4 図	SD1001土層断面図 1	483
第 5 図	SD1001土層断面図 2	485
第 6 図	SD1001土層断面図 3	486

第7図	SD1002十層断面図	487
第8図	SD1003上層断面図	488
第9図	SD1001平坦面 赤生小形仿製鏡出土状況平・断面 図（破線は銅イオンによる黒灰色化範囲）	489
第10図	SD1001平坦面出土 赤生小形仿製鏡（内行花文 放射線状文仿製鏡）・拓影	490
第11図	カネガ谷遺跡出土遺物（鍛造袋状鉄斧・鉄剣・ 鉄錐・鉄鏃・鉄鑿・鉄製・刀子・銅鏃・緑色燧 灰岩製管玉）	492
第12図	SD1001出土土器1	494
第13図	SD1001出土土器2	495
第14図	SD1001出土土器3	496
第15図	SD1001出土土器4	497
第16図	SD1001出土土器5	498
第17図	SD1001出土土器6	499
第18図	SD1001出土土器7	500
第19図	SD1001出土土器8	501
第20図	SD1001出土土器9	502
第21図	SD1001出土土器10	503
第22図	SD1001出土土器11	504
第23図	SD1001出土土器12	505
第24図	SD1001出土土器13	506
第25図	SD1001出土土器14	507
第26図	SD1001出土土器15	508
第27図	SD1001出土土器16	509
第28図	SD1001出土土器17	510
第29図	SD1001出土土器18	511
第30図	SD1001出土土器19	512
第31図	SD1001出土土器20	513
第32図	SD1001出土土器21	514
第33図	SD1001出土土器1	515
第34図	SD1001出土土器2	516
第35図	SD1001出土土器3	517
第36図	SD1001出土土器4	518
第37図	SD1001出土土器5	519
第38図	SD1001出土土器6	520
第39図	SD1001出土土器7	521
第40図	SD1001出土土器8	522

第41図	SD1001出土土器9	523
第42図	SD1001出土土器10	524
第43図	SD1002出土土器	525
第44図	SD1003出土土器	525
第45図	SB1001平・断面図	526
第46図	SB1001出土土器	527
第47図	SB1001出土土器	527
第48図	SB1002平・断面図	528
第49図	SB1003平・断面図	528
第50図	SB1003出土土器	529
第51図	SB1003出土土器	529
第52図	SB1004平・断面図	530
第53図	SB1004出土土器	531
第54図	SB1004出土土器	531
第55図	SB1006平・断面図	531
第56図	SB1006出土土器	532
第57図	SB1006出土土器	532
第58図	SB1007平・断面図	532
第59図	SB1007出土土器	533
第60図	SB1007出土土器	534
第61図	SB1008平・断面図	536
第62図	SB1008出土土器1	537
第63図	SB1008出土土器2	538
第64図	SB1008出土土器1	539
第65図	SB1008出土土器2	540
第66図	SB1008出土土器3	541
第67図	SB1008出土土器4	542
第68図	SB1008出土土器5	543
第69図	SB1009平・断面図	544
第70図	SB1009出土土器	545
第71図	SB1009出土土器1	546
第72図	SB1009出土土器2	547
第73図	SB1009出土土器3	548
第74図	SB1010平・断面図	549
第75図	SB1010出土土器	550
第76図	SB1010出土土器	549
第77図	SB1011平・断面図	551
第78図	SB1011出土土器	551

第79回	SB1011出土石器	551	第117回	包含層出土石器26	588
第80回	SB1012平・断面図	552	第118回	包含層出土石器27	589
第81回	SB1012出土石器	553	第119回	包含層出土石器28	590
第82回	SB1012出土石器	554	第120回	包含層出土石器29	591
第83回	SB1013平・断面図	555	第121回	包含層出土石器1	592
第84回	SB1013出土石器	556	第122回	包含層出土石器2	593
第85回	SB1013出土石器1	557	第123回	包含層出土石器3	594
第86回	SB1013出土石器2	558	第124回	包含層出土石器4	595
第87回	SB1013出土石器	557	第125回	包含層出土石器5	596
第88回	SB1014平・断面図	559	第126回	包含層出土石器6	597
第89回	SB1014出土石器	560	第127回	包含層出土石器7	598
第90回	SB1014出土石器1	561	第128回	包含層出土石器8	599
第91回	SB1014出土石器2	562	第129回	包含層出土石器9	600
第92回	包含層出土石器1	563	第130回	包含層出土石器10	601
第93回	包含層出土石器2	564	第131回	包含層出土石器11	602
第94回	包含層出土石器3	565	第132回	包含層出土石器12	603
第95回	包含層出土石器4	566	第133回	包含層出土石器13	604
第96回	包含層出土石器5	567	第134回	包含層出土石器14	605
第97回	包含層出土石器6	568	第135回	包含層出土石器15	606
第98回	包含層出土石器7	569	第136回	包含層出土石器16	607
第99回	包含層出土石器8	570	第137回	包含層出土石器17	608
第100回	包含層出土石器9	571	第138回	包含層出土石器18	609
第101回	包含層出土石器10	572	第139回	包含層出土石器19	610
第102回	包含層出土石器11	573	第140回	包含層出土石器20	611
第103回	包含層出土石器12	574	第141回	包含層出土石器21	612
第104回	包含層出土石器13	575	第142回	包含層出土石器22	613
第105回	包含層出土石器14	576	第143回	包含層出土石器23	614
第106回	包含層出土石器15	577	第144回	包含層出土石器24	615
第107回	包含層出土石器16	578	第145回	包含層出土石器25	616
第108回	包含層出土石器17	579	第146回	包含層出土石器26	617
第109回	包含層出土石器18	580	第147回	包含層出土石器27	618
第110回	包含層出土石器19	581	第148回	包含層出土石器28	619
第111回	包含層出土石器20	582	第149回	包含層出土石器29	620
第112回	包含層出土石器21	583	第150回	包含層出土石器30	621
第113回	包含層出土石器22	584	第151回	包含層出土石器31	622
第114回	包含層出土石器23	585	第152回	包含層出土石器32	623
第115回	包含層出土石器24	586	第153回	包含層出土石器33	624
第116回	包含層出土石器25	587	第154回	包含層出土石器34	625

第155図	包含層出土石器35	626
第156図	包含層出土石器36	627
第157図	石製投弾 1	628
第158図	石製投弾 2	629
第159図	出土銭貨	630
第160図	SM1001墳丘地形平面および土層断面図	633
第161図	SM1001石室内層土土層断面図	635
第162図	SM1001石室平・断面図	637
第163図	SM1001石室内遺物出土状況平・断面図	639
第164図	SM1001出土遺物 1	641
第165図	SM1001出土遺物 2	642
第166図	SM1001出土遺物 3	643
第167図	SM1001出土遺物 4	644
第168図	SM1001出土遺物 5	644
第169図	SM1001出土遺物 6	645
第170図	ST1001遺物出土状況平・断面図	646
第171図	ST1001出土遺物	646
第172図	SM1002墳丘地形平面図	649
第173図	SM1002 ED-1遺物出土状況平・断面図	651
第174図	SM1002 ED-1出土遺物	652

表目次

第1表	出土遺物一覧表	673
第2表	出土遺物観察表	676

Ⅳ 坂谷東遺跡

挿図目次

第1図	グリッド配置図	802
第2図	地形平面・透視配置図	804
第3図	トレンチ配置図	805
第4図	模式柱状土層図	806
第5図	SB1001平・断面図	807
第6図	SB1001-EH・EP 断面図	808
第7図	SB1001出土遺物	808
第8図	包含層出土遺物	809

表目次

第1表	出土遺物一覧表	810
第2表	出土遺物観察表	810

Ⅴ 藤原寺谷古墳群

挿図目次

第1図	グリッド配置図	816
第2図	地形平面・トレンチ配置図	817
第3図	模式柱状土層図	818
第4図	SX1001遺物出土状況分布図	821
第5図	SX1001出土地輪 1	822
第6図	SX1001出土地輪 2	823
第7図	SX1001出土地輪 3	824
第8図	SX1001出土地輪 4	825
第9図	SX1002遺物出土状況平・断面図	826
第10図	SX1003地輪出土状況平・断面図	826
第11図	SX1002出土地輪	820
第12図	SX1003出土遺物 1	827
第13図	SX1003出土遺物 2	828
第14図	SX1004遺物出土状況平・断面図	829
第15図	SX1004西側遺物出土状況平・断面図	829
第16図	SX1005遺物出土状況平・断面図	829
第17図	SX1004・1005出土遺物	830
第18図	包含層出土遺物	830

表目次

第1表	出土遺物一覧表	832
第2表	出土遺物観察表	832

Ⅵ 助ヶ谷古墳群

挿図目次

第1図	グリッド配置図	838
第2図	地形平面・トレンチ配置図	841
第3図	模式柱状土層図	842
第4図	SM1001周壕内遺物出土状況分布平面・周壕土層断面図	843
第5図	SM1001周壕内出土遺物 1	844
第6図	SM1001周壕内出土遺物 2	845
第7図	包含層出土遺物	845

表目次

第1表	出土遺物一覧表	848
第2表	出土遺物観察表	848

Ⅷ 東林院古墳群

挿図目次

第1図	グリッド・トレンチ配置図	854
第2図	地形平面・遺構配置図	857
第3図	基本土層断面図	858
第4図	SM1001平・墳丘土層断面図	859
第5図	SM1001平・断面図および玉類出土状況分布図	861
第6図	SM1001遺物出土状況平面図および土層断面図	863
第7図	SM1001出土遺物	864
第8図	ST1001平・断面図	865
第9図	ST1001基底部平・断面図	866
第10図	ST1001出土遺物	866
第11図	ST1002平・断面図および副葬品出土状況図	868
第12図	ST1002基底部平・断面図	869
第13図	ST1002出土遺物 1	870
第14図	ST1002出土遺物 2	871
第15図	ST1002出土遺物 3	872
第16図	ST1003平・断面図	873
第17図	ST1003出土遺物	874
第18図	ST1004平・断面図	875
第19図	ST1004基底部平・断面図	876
第20図	ST1004出土遺物	877
第21図	ST1005平面およびSU1001平・断面図	878
第22図	ST1006平・断面図	879
第23図	SU1002平面図	880
第24図	SU1002出土遺物	880
第25図	SU1003平面図	881
第26図	SU1004平面図	881
第27図	SU1005平・断面図	882
第28図	SK1001平・断面図	883
第29図	包含層出土遺物	884

表目次

第1表	出土遺構一覧表	870
第2表	出土遺物観察表	870

Ⅷ 西山谷古墳群

挿図目次

第1図	グリッド・トレンチ配置図	897
-----	--------------	-----

第2図	地形平面・遺構配置図	903
第3図	基本土層図	906
第4図	SM1003墳丘地形平面図	907
第5図	SM1003主体部平・断面図	908
第6図	ST1001主体部平・断面図	910
第7図	ST1002主体部平・断面図	911
第8図	ST1002出土遺物	912
第9図	ST1003主体部平・断面図	914
第10図	ST1004主体部平・土層断面図	915
第11図	ST1004主体部平・立面図	916
第12図	ST1004遺物出土状況図	917
第13図	ST1004出土遺物	918
第14図	SM1002墳丘地形平面図	920
第15図	SM1002壘穴式石室平・断面図	923
第16図	SM1002壘穴式石室平面図(基壇上面積石除去後)	925
第17図	SM1002壘穴式石室内覆十層断面および基壇土層断面図	927
第18図	SM1002壘穴式石室内副葬品出土状況および粘土棺床十層断面図	929
第19図	SM1002壘穴式石室出土 斜縁上方作銘鉄帯鏡 (S=1/1)	933
第20図	SM1002壘穴式石室出土 斜縁上方作銘鉄帯鏡拓影	934
第21図	SM1002壘穴式石室出土鉄器 1	935
第22図	SM1002壘穴式石室出土鉄器 2	936
第23図	SM1002壘穴式石室出土土器	938
第24図	石室の移築・保存 1	951
第25図	石室の移築・保存 2	952
第26図	石室修築工事平面図および屋外展示施設	953

表目次

第1表	出土遺構一覧表	954
第2表	出土遺物観察表	954

Ⅷ 大谷山田遺跡

挿図目次

第1図	グリッド配置・遺構配置図	962
第2図	トレンチ配置図	963

第3図	横式柱状土層図	964
第4図	SM1001石室(第2次床面)平・断面図	966
第5図	SM1001前道部階梯状況平・断面図	967
第6図	SM1001石室(第1次床面)平・断面図	969
第7図	SM1001石室(第1次床面)遺物出土状況分布平・断面図(鉄器・玉類)	971
第8図	SM1001出土遺物1	974
第9図	SM1001出土遺物2	975
第10図	ST1001平・断面図	976
第11図	ST1001遺物出土状況平・断面および積石除去(基底部)平・断面図	977
第12図	ST1001出土遺物1	978
第13図	ST1001出土遺物2	979
第14図	ST1002平・断面図	981
第15図	包含層出土遺物	982

表目次

第1表	出土遺物一覧表	984
第2表	出土遺物観察表	984

Ⅱ 大代古墳

挿図目次

第1図	グリッド配置図	993
第2図	大代古墳周辺地形断面・大代古墳墳丘断面図および大代古墳墳丘各段平面模式図	999
第3図	トレンチ配置・遺構配置図	1001
第4図	Aトレンチ土層断面図	1004
第5図	Aトレンチ出土地輪	1003
第6図	B-Fトレンチ土層断面図	1006
第7図	Gトレンチ平・断・立面図	1007
第8図	Gトレンチ門階地輪基底部平・断面図	1008
第9図	Gトレンチ出土地輪1	1009
第10図	Gトレンチ出土地輪2	1010
第11図	H・Jトレンチ土層断面図	1011
第12図	Hトレンチ出土地輪	1012
第13図	Jトレンチ出土地輪	1013
第14図	Kトレンチ平・断・立面図	1015
第15図	Kトレンチ出土地輪1	1016
第16図	Kトレンチ出土地輪2	1017

第17図	Kトレンチ出土地輪3	1018
第18図	Kトレンチ出土地輪4	1019
第19図	Kトレンチ出土地輪5	1020
第20図	Kトレンチ出土地輪6	1021
第21図	Kトレンチ出土地輪7	1022
第22図	Kトレンチ出土地輪8	1023
第23図	Kトレンチ出土地輪9	1024
第24図	Kトレンチ出土地輪10	1025
第25図	Lトレンチ平・断・立面図(括弧部)	1026
第26図	Lトレンチ出土地輪1	1027
第27図	Lトレンチ出土地輪2	1028
第28図	Lトレンチ出土地輪3	1029
第29図	Lトレンチ出土地輪4	1030
第30図	Lトレンチ出土地輪5	1031
第31図	Lトレンチ出土地輪6	1032
第32図	Lトレンチ出土地輪7	1033
第33図	Lトレンチ出土地輪8	1034
第34図	Lトレンチ出土地輪9	1035
第35図	Lトレンチ出土地輪10	1036
第36図	Mトレンチ平・断・立面図(掘削溝)	1037
第37図	Mトレンチ出土地輪	1038
第38図	Nトレンチ平・断・立面図	1039
第39図	Nトレンチ出土地輪	1040
第40図	Pトレンチ平・断面図(括弧部)	1041
第41図	Pトレンチ出土地輪1	1043
第42図	Pトレンチ出土地輪2	1044
第43図	Pトレンチ出土地輪3	1045
第44図	O・Rトレンチ土層断面図	1046
第45図	Rトレンチ出土地輪	1046
第46図	Qトレンチ平・断・立面図	1047
第47図	Qトレンチ出土土師器	1048
第48図	Qトレンチ出土地輪1	1049
第49図	Qトレンチ出土地輪2	1050
第50図	Sトレンチ平・断・立面図	1051
第51図	Sトレンチ出土地輪	1052
第52図	V・Wトレンチ平・断・立面図(前方部前面)	1053
第53図	Wトレンチ出土地輪1	1054
第54図	Wトレンチ出土地輪2	1055

第55図	J-W トレンチ出土地輪	1066
第56図	T・U・X・Z トレンチ土層断面図	1067
第57図	Z トレンチ出土地輪	1068
第58図	包含層出土地輪	1069
第59図	大代古墳石室平・立面図	1063
第60図	大代古墳主体部平・断面図	1065
第61図	大代古墳石室床断面図	1067
第62図	大代古墳例式式舟形石棺平・立面図	1068
第63図	大代古墳主体部墓床平・上層断面図	1069
第64図	大代古墳石棺内壁上層断面図	1071
第65図	大代古墳主体部遺物出土状況分布平・断面図	1073
第66図	大代古墳例式式舟形石棺尖側面図	1075
第67図	SX1001平・断面図	1076
第68図	SX1001遺物出土状況平面図	1077
第69図	SX1002平・断面図	1077
第70図	大代古墳出土遺物(青銅鏡・銅鏝・鉄鏝・玉型)	1078
第71図	大代古墳出土遺物(白朮)	1079
第72図	大代古墳出土埴甲 1	1080
第73図	大代古墳出土埴甲 2	1081
第74図	大代古墳出土埴甲 3	1082
第75図	大代古墳出土埴甲 4	1083
第76図	大代古墳出土埴甲 5	1084
第77図	大代古墳出土長方形革履短甲復元案	1085
第78図	大代古墳出土鉄器 1	1087
第79図	大代古墳出土鉄器 2	1088
第80図	大代古墳出土鉄器 3	1089
第81図	大代古墳出土鉄器 4	1091
第82図	I・II トレンチ土層断面図	1092
第83図	3号墳地形平面・トレンチ配置図	1097
第84図	トレンチ土層断面図	1099
第85図	3号墳主体部平・断面図	1101
第86図	e トレンチ平・立面およびf トレンチ平面図 (葬石)	1102
第87図	箱式石棺平・断面図	1106
第88図	箱式石棺副葬品出土平・断面図および墓床(石 棺除去)平・断面図	1106
第89図	箱式石棺出土直刀	1103
第90図	大代古墳の現地保存と史跡整備	1116

第91図	大代古墳トンネル空中写真と現在の様子	1117
------	--------------------	------

表目次

第1表	出土遺物一覧表	1118
第2表	出土遺物観察表	1119

II 辺露遺跡

拝田日次

第1図	グリッド配置図	1150
第2図	土層断面図 1	1153
第3図	土層断面図 2	1155
第4図	第1遺構面 遺構配置図	1157
第5図	SR1001平面図	1158
第6図	SR1001出土遺物	1159
第7図	SX1001平面図	1160
第8図	SX1001出土遺物	1160
第9図	第2遺構面 遺構配置図	1161
第10図	SR2001平面図	1162
第11図	SR2001遺物出土状況平面図	1162
第12図	SR2001出土遺物	1163
第13図	SR2002遺物出土状況平面図	1164
第14図	SR2002出土遺物	1164
第15図	SR2003遺物出土状況平面図	1164
第16図	第3遺構面 遺構配置図	1165
第17図	SR3001平・断面図	1166
第18図	SR3001遺物出土状況平面図	1167
第19図	SR3001出土遺物 1	1168
第20図	SR3001出土遺物 2	1169
第21図	SR3002平・断面図	1169
第22図	SR3003平・断面図	1170
第23図	SR3003出土遺物	1170
第24図	第4遺構面 遺構配置図	1171
第25図	SR4001出土遺物	1172
第26図	1区 第1包含層出土遺物	1172
第27図	1区 第2包含層出土遺物 1	1173
第28図	1区 第2包含層出土遺物 2	1174
第29図	1区 第3包含層出土遺物	1175
第30図	1区 第4包含層出土遺物	1175
第31図	SK4001遺物出土状況平面図	1176

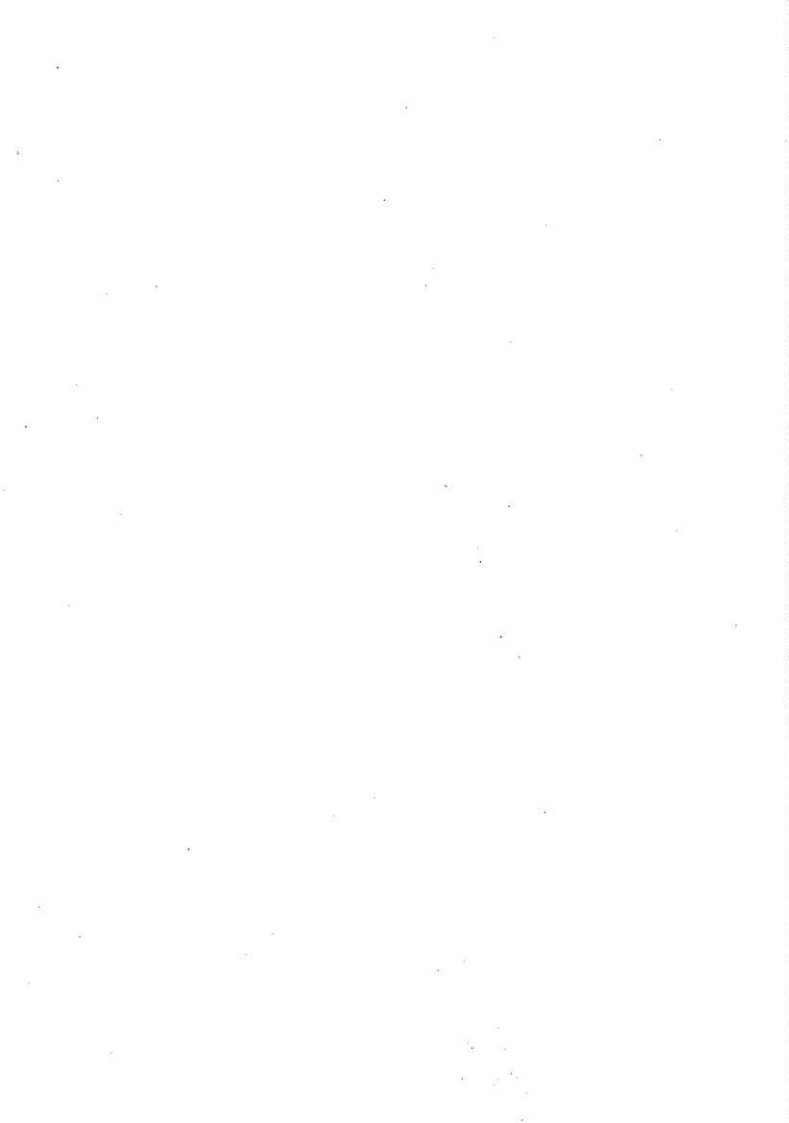
第32回	SK4001遺物出土状況平面図および断面図	1176
第33回	SK4001出土遺物	1176
第34回	SK4002平面図	1177
第35回	SK4003平面図	1177
第36回	SK4004平面図	1177
第37回	SP4001平面図	1178
第38回	2区 包含層遺物出土状況平面図	1178
第39回	2区 包含層出土遺物 1	1179

第40回	2区 包含層出土遺物 2	1180
第41回	2区 包含層出土遺物 3	1181
第42回	2区 包含層出土遺物 4	1182
第43回	縄文土器出土状況分布平面図	1183
第44回	出土縄文土器	1184

表目次

第1表	出土遺物一覧表	1186
第2表	出土遺物観察表	1186

I 調査にいたる経緯



調査の経緯

四国横断自動車道は「国土開発幹線自動車道建設法」および「高速自動車国道法」に基づき、四国4県を連結する幹線道路として計画された。四国横断自動車道 鳴門～津田（第12次区間）は徳島県と香川県を結び、徳島県側では神戸・淡路・鳴門自動車道と接続する。本区間は平成元年2月に基本計画決定、平成5年11月に施工命令が出され、平成6年5月に路線発表がされている。

徳島県の鳴門市から板野郡板野町の路線に係る埋蔵文化財の精密分布調査は、徳島県からの委託により、平成7年度に財団法人徳島県埋蔵文化財センター（以下センターと呼ぶ）が2ヵ月実施した。調査は現地の田畑・宅地・山林等を一筆ごとに踏査し、遺物の採集を図り、結果を1/1,000地形図に記入した。本路線は徳島県有数の古墳群域を横断するルートが採られている。古墳群は阿讃（讃岐）山脈南裾に点在しており、ルート自体は古墳群よりも高所を通過するため、周知の古墳群の多くは調査対象外となったが、無墳丘の箱式石棺等については確認の手だてがないうため、山林部は地形観察その他の状況を加味して調査対象範囲を検討した。その結果、路線延長16.3km、調査面積3,200,000㎡に65カ所434,000㎡余りの対象地が設定された。

これに基づいて平成8年度当初に、徳島県教育委員会文化財課（以下文化財課と呼ぶ）とセンターは現地を踏査し、調査対象地の確認及び範囲の絞り込み作業を実施するとともに、遺跡名称の最終確認作業を進めた。これに併行して日本道路公団高松建設局（当時、以下JIIと呼ぶ）、徳島工事事務所と文化財の取り扱いに関する協議を実施し、平成8年10月、当該路線44遺跡277,910㎡を事前調査とする文化庁協議を終えた。また、四国横断自動車道（鳴門～板野）建設予定地に係る44遺跡の取り扱いについては、平成8年10月、文化庁からは「1.当該予定地に係る大坂西谷遺跡44遺跡については、工事施工に先立って発掘調査を実施すること。2.発掘調査の結果、重要な遺構が発見された場合はその保存について十分配慮すること。3.発掘調査後の措置については徳島県教育委員会と協議すること。」というものであった。この段階では、JHと県教委との協議では、発掘調査の結果によっては、保存を求め可能性がある古墳群が2ヵ所あると申し入れていた。

本区間は32遺跡において古墳の存在する可能性があったが、従来の集落遺跡を中心とした縦貫自動車道関連調査と調査歩掛り、所要期間の算定基準を適用することはできず、かつ進入路の確保・立木処理などの課題があった。このため、事業の進捗を図るため、JHとの度重なる協議によって浮上してきた、用地取得以前に試掘調査を先行し、本調査の必要がある場合には調査期間を算定するための基礎資料を得る施工承諾方式による調査を当該事業において初めて実施した。

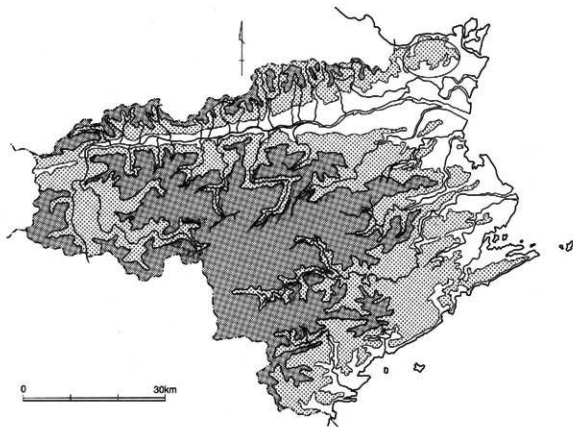
試掘調査はこのような脈絡の中で用地取得団体交渉妥結の際、名義変更登記を待たず、地権者の発掘調査同意書が得られた地点から順次実施したものである。

実際の試掘に際しては平成元年5月に統一マニュアルを作成し、調査対象面積の5%を基準としたトレンチを設定し、遺物包含層および無遺物自然堆積層までの層厚の確認と柱状断面図、断面写真の作成を基本方針とした。遺跡の有無の判定についてはJHとの協議により最終見極め面積を20%とすることで双方が合意したが、あくまで目安であり、個々の実施段階では遺構の粗密、掘削深度により当然ながら試掘面積比率に変動が生じた。

調査の実施については、平成9年度4遺跡2,718㎡、10年度14遺跡6,610㎡、11年度24遺跡9,050㎡、12年度17遺跡25,791㎡の調査を行い、当該事業を終了した。実施率は20%を切った。

本書に記載の試掘調査報告書は、本調査に至らなかった地点の総括である。個々の結果概要については各年度の年報に記載されている。概ね遺跡としての認定ができなかったものが大部分であるが、本事業に伴う調査の進捗状況を示す資料としてここに収録する次第である。

なお、平成10～12年度に実施した西山谷2号墳については12年度に竪穴式石室の切り取り作業を行った。平成13年度に竪穴式石室の移設・復元・保存・整備作業を実施し、現在、埋蔵文化財センター敷地内において一般に公開・展示をしている。12年度に調査を行った大代古墳は11年11月に大部分の用地が取得されたため、12年1月末に調査に係る立木伐採範囲の設定作業を実施、3月10日伐採終了確認の現地立会において、その存在を確認した。センターは直ちに文化財課と協議を行い、3月16日にJH徳島工事事務所において現状保存を申し入れ、事務レベルの協議を開始した。これと併行して文化財課は文化庁記念物課との協議を実施した。3月31日当該用地の取得が完了したため、4月11日より築造年代・主体・外表施設、保存を要する範囲確認のための調査を開始した。この後、調査経過を踏まえつつ、文化財課・センター・JH四国支社・徳島工事事務所・県高速道路推進局は保存に起因する諸課題について協議を重ねた結果、9月の現地説明会段階において、トンネル工法（片側3車線の双設トンネル）に構造変更して現状保存されることが決定した。大代古墳は保存・整備作業が実施され、下を通るトンネルは大代古墳トンネルと呼称されている。



第1図 調査地点の位置（丸み部分）

作業の経過

平成9年度より着手した四国横断自動車道に伴う埋蔵文化財発掘調査は平成12年度に当該路線に係る全44遺跡の発掘調査を完了した。当該事業は、大代古墳・西山谷古墳群など全国的に注目された遺跡を含んでおり、出土資料の風化を避けるとともに調査成果の公開・活用の観点から、本報告書に先行し、平成13年度に「阿讃山脈東南縁の古墳群」「徳島県埋蔵文化財センター調査概報第3集」として発掘調査の主要な成果の一部を取りまとめ、概要報告として刊行した。

四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の本報告書作成整理業務は、平成14年度に開始された。整理作業期間は平成14年度から平成16年度の3年間とし、平成17年度に刊行の計画で実施された。整理業務に際して、遺物コンテナ1箱170点換算で、1班（研究員1名、整理作業員5名）が年間140箱の遺物コンテナに係る整理作業を完結させるとの作業歩掛に基づき、試掘・本掘が実施された44遺跡の整理作業を開始した。報告書作成にあたっては、本調査に至らなかった26遺跡を取りまとめた試掘調査総括と本調査18遺跡を合わせて1冊の報告書として刊行する計画を策定した。なお、本調査とした中には、遺構・遺物が確認できた試掘調査も含むこととした。

当初、作業の対象になったのは、試掘のみで終了した26遺跡と本調査12遺跡の計38遺跡、遺物コンテナ140箱を平成14年度分として1班体制で実施された。引き続き、平成15年度には本調査6遺跡、遺物コンテナ140箱の整理作業を1班体制で実施した。平成16年度は2班体制で2遺跡、遺物コンテナ280箱の整理作業を実施し、整理業務を完了した。

整理作業は、出土遺物の洗浄・注記・接合・復元の工程を通じて実測遺物の抽出、実測を実施した。遺物実測図は製図ペンによる浄書をし、押図図版を作成、同様に各遺構や土層などの図面も浄書・図版化を行った。土器・石器・鉄器などの一部については写真撮影を行い、遺構などの写真とともに写真図版として構成した。実測図作成と併行して遺物観察表項目の整備を行った。以上の内容をもとに本文の作成を行い、自然科学分野などの分析委託成果を併せて編集を行い、報告書としての体裁を整えた。

業務の体制

平成9年より6年7ヵ月間の歳月を要した本事業の総量は以下のとおりである。

発掘調査所要期間3年7ヵ月（44遺跡）、報告書作成所要期間3年、発掘調査担当職員36人、報告書作成担当職員4人、出土箱数560箱、出土遺物総点数92,550点、整理作業員延べ4,800人。

調査組織及び整理体制は以下のとおりである。

調査組織

所長	筒井豊祐（平成9年度） 本淨敏之（平成13～15年度）	寒川光明（平成10～12年度） 浦上純二（平成16年度）
事務局長	庄野徳保（平成9年度） 伊丹康裕（平成12・13年度） 河野幸一（平成16年度）	細川靖夫（平成10・11年度） 西村和博（平成14・15年度）

事務局次長	谷 一郎 (平成9年度)	
総務課長	長江 仁 (平成9年度)	井後伸一 (平成10・11年度)
	高野 明 (平成12・13年度)	山本高史 (平成14・15年度)
	古田哲郎 (平成16年度)	
総務係長	福本紀美子 (平成12～14年度)	坂尾俊一 (平成15・16年度)
主 事	集堂正士 (平成9～11年度)	西木未香 (平成9年度)
	佐藤真紀 (平成10・11年度)	田所政儀 (平成12・13年度)
	鈴木智栄 (平成14～16年度)	布川純子 (平成14・15年度)
	川口治代 (平成16年度)	
臨時補助員	福本桂子 森 礼子 山下知子 中村早苗 西岡悦子 吉成真紀 坂東美穂 川村昌子 作田加奈子 河野ちひろ 西木尚子 大西真千子 古川佳美 岩野梨恵 小島史子 清水恵美 市橋佳奈 宇都宮桂子	
技 師	芥木雅和 (平成9年度)	大西孝司 (平成10年度)
	小田祥雄 (平成11年度)	榎原義則 (平成12・13年度)
	原田敏夫 (平成13～15年度)	
調査第一課長兼普及係長	島巡賢二 (平成9年度)	
調査係長	南 信義 (平成9年度)	
調査第二課長	菅原康夫 (平成9年度)	
調査第一係長	松永雅行 (平成9年度)	
調査第二係長	佐々木清克 (平成9年度)	
調査課長	菅原康夫 (平成10～14年度)	新居文和 (平成15年度)
調査第一係長	市村みね (平成10・11年度)	光山忠幸 (平成12・13年度)
	富本輝仁 (平成15年度)	
調査第二係長	武市文雄 (平成10～12年度)	新居文和 (平成13年度)
	藤川智之 (平成15・16年度)	
調査係長	新居文和 (平成14年度)	
事業第一課長	富本輝仁 (平成16年度)	
事業第一課第一係長	濱 徹 (平成16年度)	
事業第一課第二係長	藤川智之 (平成16年度)	

調査担当

中谷山古墳群（I）

研究員

志摩誠一（当時） 梶尾順一（当時） 中南弘史（当時） 小延偉公（当時） 前川直江（当時）

川端奥郷遺跡

研究員

梶尾順一（当時） 前川直江（当時） 下内新吾（当時） 佐藤宏明（当時） 橋本寿夫（当時）
斎 浩市（当時）

川端馬越古墳群

研究員

下内新吾（当時） 佐藤宏明（当時） 橋本寿夫（当時）

桧はちまき山遺跡

研究員

下内新吾（当時） 佐藤宏明（当時） 喜多啓二（当時）

桧高麗谷古墳群

研究員

河野啓介（当時） 原 芳伸

桧北山古墳群

研究員

橋本寿夫（当時） 橋本守正（当時）

浄土寺遺跡

研究員

島田豊彰 宮本 格（当時） 元木浩司（当時） 上窪昭英（当時） 須崎一幸（当時） 梶川智江（当時）
大石修一（当時） 岩佐正人（当時） 谷 恒二（当時） 前川直江（当時）

浄土寺山古墳群

研究員

大石修一（当時） 岩佐正人（当時）

西山田古墳群（I）

研究員

田川 憲 林 賢彦（当時）

カネガ谷遺跡

研究員

松田 幸 (当時) 槌谷久代 (当時) 橋本寿夫 (当時) 貞野保仁 (当時) 川村哲夫 (当時)

原 芳伸

延谷東遺跡

研究員

大石修一 (当時) 岩佐正人 (当時)

勝明寺谷古墳群

研究員

橋本寿夫 (当時) 橋本守正 (当時)

助ヶ谷古墳群

研究員

下内新吾 (当時) 佐藤宏明 (当時) 河野啓介 (当時) 原 芳伸

東林院古墳群

研究員

下内新吾 (当時) 瀬尾敏男 (当時)

西山谷古墳群

研究員

橋本寿夫 (当時) 河野啓介 (当時) 川村哲夫 (当時) 原 芳伸

大谷山田遺跡

研究員

橋本寿夫 (当時) 貞野保仁 (当時) 谷 恒二 (当時) 相原 聡 (当時) 原 芳伸

大代古墳

幸泉満夫 木村哲也 (当時) 下内新吾 (当時) 佐藤宏明 (当時) 齋 浩市 (当時) 宮本 格 (当時) 原 芳伸

辺露遺跡

下内新吾（当時） 佐藤宏明（当時） 齋 浩市（当時） 宮本 格（当時）

整理体制

整理普及課長 島巡賢二（平成10～15年度）

整理係長 松永雅行（平成10年度） 西谷泰幸（平成11・12年度）
貞野保仁（平成13・14年度） 貞野雅巳（平成15年度）

普及係長 高見喜美男（平成10・11年度） 青木秀明（平成12～14年度）
関本秋夫（平成15年度）

事業第二課長 島巡賢二（平成16年度）

整理係長 貞野雅巳（平成16年度）

普及係長 関本秋夫（平成16年度）

臨時補助員 寺澤久美子 徳元美奈子 大西康代 玉田裕美 高尾准子 高本順子 長谷川 愛
数朋一美 小川真由 山山由美 山内智美 黒川友香 富田香織 安部祐子

報告書作成業務

金森暎人（平成14年度） 原 芳伸（平成15年度） 折野佳子・原 芳伸（平成16年度）

整理作業員

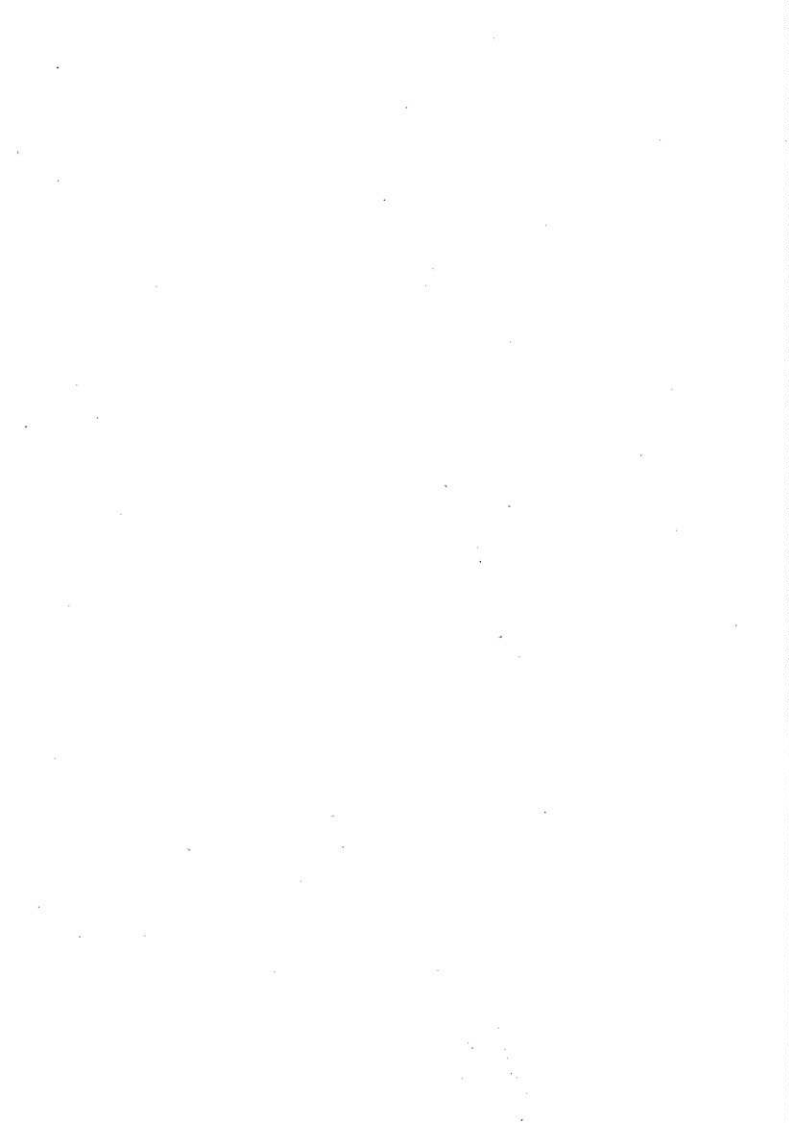
井上美穂 榎本直美 尾形 愛 折野悦子 片山明美 楠 町子 小郷恵美 曾江洋子 高見寿子
布谷早苗 阪東由紀 東中美智子 藤田良子 溝杭智子 横山千栄子

第1表 四国横断自動車道(板野～鹽門間)埋蔵文化財調査地一覧表

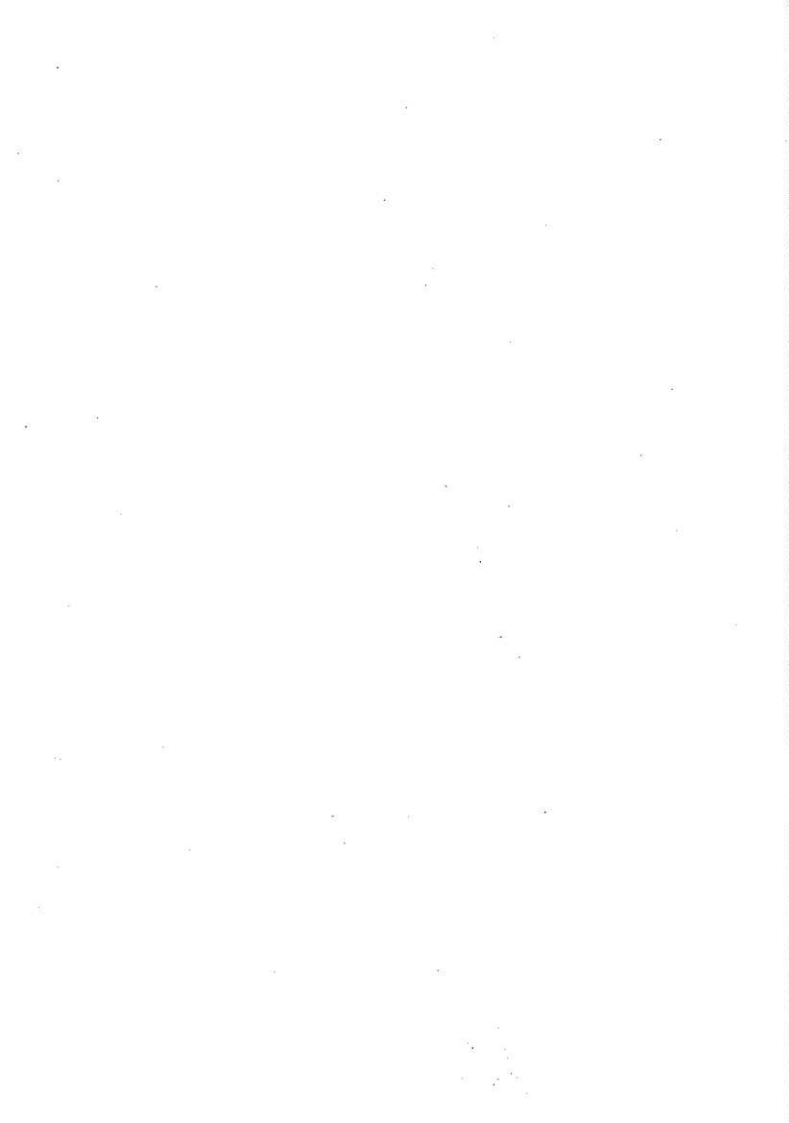
No	遺跡名	所在地	面積 (㎡)					備考	
			実施面積	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度		
1	大坂西遺跡	板野郡板野町大坂	850	850(試掘)				本報告書所収	
2	晒谷遺跡	板野郡板野町大坂字北晒谷9-1他	1,000	1,000(試掘)				本報告書所収	
3	岡柱遺跡	板野郡板野町大坂字岡柱61-1他	1,370	700(試掘)	580(試掘)	90(試掘)		本報告書所収	
4	金泉寺谷西古墳群	板野郡板野町吹田字山152他	240	240(試掘)				本報告書所収	
5	金泉寺谷東古墳群	板野郡板野町川端字中谷山22-8他	110	110(試掘)				本報告書所収	
6	中谷山古墳群(Ⅰ)	板野郡板野町川端字中谷山20-1他	393	168(試掘)	225(本掘)			概報第3集、本報告書所収	
7	中谷山古墳群(Ⅱ)	板野郡板野町川端字中谷山20-1他	185		185(試掘)			本報告書所収	
8	中谷山古墳群(Ⅲ)	板野郡板野町川端字中谷山20-1他	80	80(試掘)				本報告書所収	
9	川端奥郷遺跡	板野郡板野町川端字東山田40他	1,855		1,040(試掘)	415(試掘)	400(本掘)	本報告書所収	
10	川端馬越古墳群	板野郡板野町川端字磨上谷3-28他	420		220(試掘)	200(本掘)		概報第3集、本報告書所収	
11	陰西谷遺跡	鳴門市大麻町松字西谷山18他	230			230(試掘)		本報告書所収	
12	松はちまき山遺跡	鳴門市大麻町松字浄土寺53他	5,600			400(試掘)	5,200(本掘)	概報第3集、本報告書所収	
13	松高麗谷古墳群	鳴門市大麻町松字高麗1他	1,750			150(試掘)	1,600(本掘)	概報第3集、本報告書所収	
14	松北山古墳群	鳴門市大麻町松字丸山26-17他	430			430(試掘)		概報第3集、本報告書所収	
15	板東塚鼻遺跡	鳴門市大麻町板東字塚鼻96-2他	1,160			1,010(試掘)	150(試掘)	本報告書所収	
16	浄土寺遺跡	鳴門市大麻町板東字浄土寺7他	2,640			340(試掘)	2,300(本掘)	本報告書所収	
17	浄土寺山古墳群	鳴門市大麻町板東字浄土寺53他	125			125(試掘)		概報第3集、本報告書所収	
18	西山田古墳群(Ⅰ)	鳴門市大麻町萩原字チコノ谷1-2他	1,180				380(試掘)	概報第3集、本報告書所収	
19	西山田古墳群(Ⅱ)	鳴門市大麻町萩原字西山田123-1他	90				100(試掘)	本報告書所収	
20	カネガ谷西古墳群	鳴門市大麻町萩原字カネガ谷16-1他	100				100(試掘)	本報告書所収	
21	カネガ谷遺跡	鳴門市大麻町萩原字カネガ谷4他	10,000				330(試掘)	概報第3集、本報告書所収	
22	延谷東遺跡	鳴門市大麻町萩原字延谷3-1他	150				150(試掘)	本報告書所収	
23	王子八幡神社古墳群	鳴門市大麻町萩原字小谷2-5他	100				100(試掘)	本報告書所収	
24	長谷古墳群	鳴門市大麻町萩原字長谷3-5他	150				150(試掘)	本報告書所収	
25	滝ヶ谷古墳群	鳴門市大麻町萩原字滝ヶ谷35他	110				110(試掘)	本報告書所収	
26	中内遺跡	鳴門市大麻町池谷字中内54他	320			270(試掘)	50(試掘)	本報告書所収	
27	勝明寺古墳群	鳴門市大麻町池谷字日開谷1他	250			250(試掘)		概報第3集、本報告書所収	
28	助ヶ谷古墳群	鳴門市大麻町池谷字助ヶ谷39他	500			500(試掘)		概報第3集、本報告書所収	
29	桶もぎ古墳群	鳴門市大麻町池谷字中谷25他	80			80(試掘)		本報告書所収	
30	家林院古墳群	鳴門市大麻町大谷字西山谷11他	1,015		65(試掘)			概報第3集、本報告書所収	
31	宇志北六神社古墳群	鳴門市大麻町大谷字山谷14-1他	115		950(本掘)			本報告書所収	
32	西山谷古墳群	鳴門市大麻町大谷字西山谷15-2他	3,530		210(試掘)	240(本掘)	960(本掘)	概報第3集、本報告書所収	
33	大谷山田遺跡	鳴門市大麻町大谷字加原34他	1,010			400	190	420(本掘)	概報第3集、本報告書所収
34	東山谷遺跡	鳴門市大麻町大谷字東山谷22他	100			100		本報告書所収	
35	原宮宮尾神社古墳群	鳴門市大麻町原田字ツツヶ谷123-1他	60			60		本報告書所収	
36	タキヶ谷古墳群	鳴門市大麻町原田字ツツヶ谷15他	150			150		本報告書所収	
37	小森宮尾神社古墳群	鳴門市大麻町原田字タキヶ谷31他	190				190	本報告書所収	
38	宮ヶ谷古墳群	鳴門市大麻町宮ヶ谷63他	80				80	本報告書所収	
39	大代谷遺跡	鳴門市大津町大代字山田1008他	100				100	本報告書所収	
40	東山古墳群	鳴門市大津町大代字東口1568-2他	90				90	本報告書所収	
41	大代古墳	鳴門市大津町大代字日開谷1484-2他	1,735			1,035	260(試掘)	440(本掘)	概報第3集、本報告書所収
42	辺露遺跡	鳴門市大津町大代字辺露832他	1,350				550	800	本報告書所収
43	日開谷東古墳群	鳴門市大津町大代字日開谷1360他	70				70		本報告書所収
44	原山古墳群	鳴門市大津町大代字原山他	90				90		本報告書所収
計			41,153						

第2表 四国横断自動車道(板野~鳴門間)埋蔵文化財試掘調査地一覧表

No	遺跡名	所在地	調査対象面積 試掘面積(m ²)	調査期間	調査担当者
1	大板西遺跡	板野郡板野町大板	28,200 850	H.9.6.16~H.9.8.15	中南弘史 小延偉公
2	唱谷遺跡	板野郡板野町大板 字北唱谷9-1他	2,450 1,000	H.9.12.1~H.9.12.15	久保雅仁 牧野浩章
3	関柱遺跡	板野郡板野町大板 字古田61-1他	83,000 1,370	H.9.12.16~H.10.1.31 H.10.7.1~H.10.7.31 H.11.11.16~H.11.11.30	久保雅仁 牧野浩章 橋本寿夫 佐藤宏明 下内新吾
4	金泉寺谷西古墳群	板野郡板野町吹田 字平山152他	2,785 240	H.11.9.1~H.11.9.15	橋本寿夫 齋 浩市
5	金泉寺谷東古墳群	板野郡板野町川端 字中谷山22-8他	2,195 110	H.10.8.1~H.10.9.15	梶尾順一 前川直江
6	中谷山古墳群(Ⅱ)	板野郡板野町川端 字中谷山20-1他	1,785 185	H.10.6.1~H.10.6.30	梶尾順一 前川直江
7	中谷山古墳群(Ⅲ)	板野郡板野町川端 字中谷山20-1他	725 80	H.10.7.1~H.10.7.31	梶尾順一 前川直江
8	檢西谷遺跡	鳴門市大麻町檢字 西谷山18他	4,580 230	H.11.11.1~H.11.11.30	佐野耕市 宮本 格
9	板東塚鼻遺跡	鳴門市大麻町板東 字塚鼻95-2他	33,580 1,160	H.12.2.1~H.12.2.29 H.12.7.16~H.12.7.31 H.13.1.1~H.13.1.15	下内新吾 佐藤宏明 貞野保仁 須崎一幸 橋本寿夫 梶川智江
10	西山田古墳群(Ⅱ)	鳴門市大麻町萩原 字西山田123-1他	1,750 90	H.12.4.1~H.12.5.31	田川 憲 林 賢彦
11	カネガ谷西古墳群	鳴門市大麻町萩原 字カネガ谷16-1他	1,600 100	H.12.4.1~H.12.5.15	松田 幸 梶谷久代
12	王了八幡神社古墳群	鳴門市大麻町萩原 字小谷2-5他	1,020 100	H.12.7.16~H.12.8.31	大石修一 岩佐正人
13	長谷古墳群	鳴門市大麻町萩原 字長谷3-5他	1,335 150	H.12.7.1~H.12.7.31	須崎一幸 梶川智江
14	滝ヶ谷古墳群	鳴門市大麻町萩原 字滝ヶ谷35他	2,170 110	H.12.6.1~H.12.6.30	齋 浩市 宮本 格
15	中内遺跡	鳴門市大麻町池谷 字中内54他	8,270 320	H.12.4.1~H.12.4.30	谷 恒 相原 聡 元木浩司 上笠昭英
16	袖もぎ古墳群	鳴門市大麻町池谷 字東中谷25他	900 80	H.11.7.1~H.11.8.31	下内新吾 佐藤宏明
17	宇志比古神社古墳群	鳴門市大麻町大谷 字山谷14-1他	1,035 115	H.10.9.16~H.10.10.31	下内新吾 瀬尾敏男
18	東山谷遺跡	鳴門市大麻町大谷 字東山谷22他	2,120 100	H.10.6.1~H.10.6.30	原 芳伸 橋本寿夫
19	姫田宮尾神社古墳群	鳴門市大麻町姫田 字三ツヶ谷123-1他	1,200 60	H.10.4.1~H.10.5.31	田川 憲 加藤公夫
20	タキヶ谷古墳群	鳴門市大麻町姫田 字三ツヶ谷15他	3,030 150	H.10.4.1~H.10.5.31	原 芳伸 橋本寿夫
21	小森宮尾神社古墳群	鳴門市大麻町姫田 字タキヶ谷31他	2,755 190	H.11.7.1~H.11.8.31	橋本寿夫 齋 浩市
22	宮ヶ谷古墳群	鳴門市大麻町宮ヶ 谷63他	1,425 80	H.11.10.1~H.11.11.15	橋本寿夫 橋本守正
23	大代谷遺跡	鳴門市大津町大代 字山田1008他	1,800 100	H.12.2.1~H.12.2.29	原 芳伸 河野啓介
24	東山古墳群	鳴門市大津町大代 字東山1568-2他	580 90	H.12.3.1~H.12.3.31	妹尾健司 小泉信司
25	日開谷東古墳群	鳴門市大津町大代 字日開谷1360他	1,035 70	H.11.12.1~H.11.12.31	下内新吾 佐藤宏明
26	原山古墳群	鳴門市大津町大代 字原山他	1,300 90	H.11.6.1~H.11.7.31	島田豊彰 妹尾健司



II 調査地点の立地と環境



徳島県は四国東部に位置する。面積は4,144.23㎢で、全面積の約80%を山地が占め、平野は約20%である。平野部は吉野川、勝浦川、那賀川、海部川などの河川の流域に開けている。

徳島県を東西に流れる吉野川は江戸期に設けられた第十堰によって現在の流れになり、本来の吉野川本流であった旧吉野川は板野郡上板町上六条で大きく北流し、阿讃山麓を蛇行しながら紀伊水道に注いでいる。

四国横断自動車道の路線に係る調査対象地点は、概ね吉野川下流域北岸、阿讃山脈南麓に位置する。阿讃山脈南麓は、地質的に和泉層群の地層を基盤としており、この和泉層群起源の砂岩・泥岩の群で構成される。中央構造線内帯は領家帯に属し、讃岐山脈南麓は、中央構造線に並行な断層が雁行状に連なっている。また地形的には、中央構造線の構造運動により阿讃山脈の南端は構造運動により谷や尾根筋の屈曲、凹地形などの微地形がみられる。大麻町姫田～里浦にかけての阿讃山脈南麓は中央構造線により切れ、断層崖が形成されている。大谷～池谷～萩原にかけては標高約10～20m程度の緩斜面がみられる。阿讃山脈南麓には、向斜構造をもつ和泉層群の南翼の地層が分布する。緩斜面の基盤のほとんどは和泉層群南翼の泥岩優勢互層で構成され、泥岩優勢互層は砂岩優勢互層に比べ浸食されやすいため、緩斜面が発達しているものと考えられ、阿讃山脈南麓の各尾根上に古墳が数多く築造される要因の一つとなっている。

丘陵の南に広がる平野部は「堀江湿性低地」と呼ばれる標高0.2～2mの低地である。大麻町東部に位置する姫田地区では現地表面直下から細かな砂層が堆積しており、当時の海岸線に近かったことが予想される。

奈良時代、律令制下の板野郡に属す鳴門市大麻町から板野町東部は、楔形に形成された徳島平野北端の阿讃山脈南麓に位置する。律令制のもとで畿内と四国を結ぶ官道の「南海道」は、紀伊国賀人駅から淡路国福良駅を通り、阿波国牟婁の海を渡って石灘駅、郡頭駅を経て、本道は讃岐国引田駅、支道は阿波国府へと通じる。古代より東四国の玄関口であった鳴門市から板野町にかけての旧吉野川河口域は、徳島県では道跡が最も集中する地域の一つである。

調査対象地となった板野町東部～鳴門市西部地域周辺には縄文時代から各時代の遺跡が所在しており、縄文時代では近年、松守前谷川遺跡の発掘調査が行われ、縄文～中世の遺構・遺物が出土している。また大麻町姫田の低地の自然堤防上には森崎貝塚が所在しており、近隣の自然堤防上にも貝塚をはじめ集落が存在している可能性があるが、現段階では遺跡の形成は限定的である。弥生時代では萩原の光勝院寺内遺跡や板東扇状地の扇頂部にある大谷川原尻遺跡などから弥生土器が出土しているが、ほとんどが包含層出土であり、集落として確実に遺跡として認識されたものは少ない。これに対し、古墳時代に入ってから遺跡の形成は数量・分布範囲ともに飛躍的に発展する。古墳時代では大麻町の阿讃山脈南麓の各尾根上に古墳が数多く築造され、萩原墳墓群・天河別神社古墳群・宝鐘寺古墳群・東林院古墳群・葛城神社古墳群・小森宮尾神社古墳群などの古墳が所在する。

徳島県鳴門市の南西部、吉野川河口の北岸、鳴門市大麻町の阿讃山脈南麓の低丘陵には多くの古墳が形成され、近隣には萩原墳墓群・天河別神社古墳群・宝鐘寺古墳などの前期古墳が集中する。古代では大麻町大谷に石園という地名があり、南海道の駅として「延喜式」に記載されている石灘駅が所在していたと伝えられている。また大麻町板東の平野部には条里地割が現在も残存している。寺院跡関連では、平安時代後期とみられる単弁蓮華文軒丸瓦や布目瓦などが出土しているが、寺域の規模、伽藍配置などは不明である。中世では近隣に勝瑞城があり、推定地ではあるが土居城・野中城・保崎城・姫田城・板

東城などが古文書に散見され、周辺にも中世の城館が存在する可能性がある。また大谷川の両岸には大谷焼の窯元が多数存在している。特に右岸には大谷焼の藩窯と考えられる窯跡が存在している。阿波徳島藩窯中山窯の創業（安永9年 1780）と共に民窯が成立し、当初の磁器生産から陶器生産への転換が行われている。

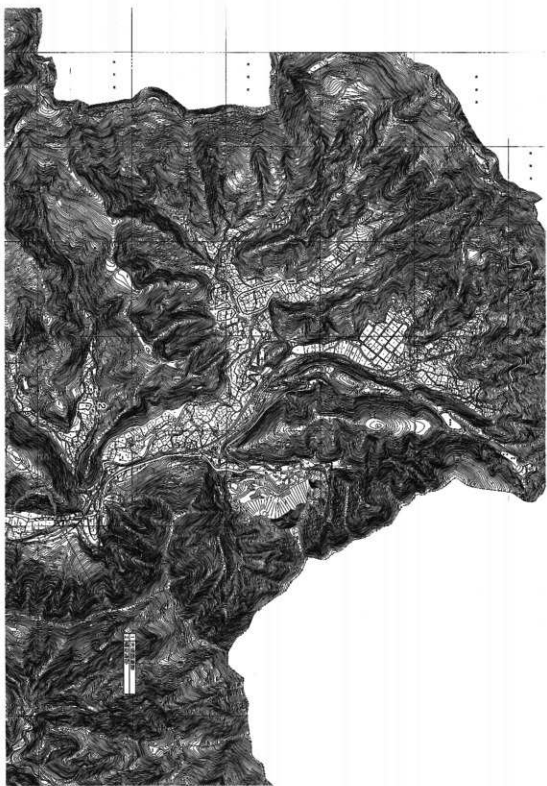
本地域では鳴門市森崎貝塚（県指定史跡）など、縄文時代中期以降に遺跡の形成が始まるが、平地部の集落遺跡はあまり明確ではない。主な遺跡としては、これまでに光勝院寺内遺跡（県教委）や椋寺前谷川遺跡（鳴門市教委）などがあるが、集落として認識された遺跡は少ない。しかし、古墳時代になると阿讃山脈の南麓の尾根上に数多くの古墳が造営され、徳島県有数の古墳群を形成するようになる。

本地域の古墳群は、吉野川を挟んで対峙する徳島県最大の古墳群域である眉山北麓・気延山古墳群（仮称：菅原2000）に匹敵する古墳群域を形成しており、前方後円墳や積石塚が分布するなど類同様相を示している。現在、本古墳群域には萩原墳墓群で2基、浄土寺山古墳群で推定1基の積石塚が残るが、「板野郡誌」では阿王塚古墳を含めて10基の積石塚を挙げるように、眉山北麓・気延山古墳群と同様に積石塚の点在する地域としても注目される。

本地域の古墳群は鳴門・板野古墳群と仮称されており、小河川が形成した扇状地形によって区画された4支群に大別することができる。鳴門海峡に面した本古墳群東端東地域は、箱式石棺墓が点在しているが、群として把握できるような要件を満たしていない。それぞれの支群の古墳群については、「阿讃山脈東南縁の古墳群」「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財概報」を参照されたい（菅原他2000）。また「鳴門市史」上巻「原始古代」は本格的調査開始直前の本地域の古墳群を包括しており、現在もお基本文献として評価される（秋山1976）。



第1図 四国橋新自動車道の路線に係る埋蔵文化財調査地点と周辺の遺跡 (1/50,000)



第 2 図 調査地点位置図 (S=1/20,000)